

いと回答でした。そのため、校舎の移動は夏休みや冬休みなどの長期休暇を利用して行うこととなります。年度途中に通学方法や通学路の変更等が生じるため、登下校の安全対策等の検討を要望しました。

行政
一般質問
2

質問・回答要旨・所感



学校再編について

Q 1) 館山市学校再編調査検討委員会からの答申に対する教育委員会の見解は？

A 1) 将来的な児童生徒数の減少への対応、また、学校施設の老朽化対策などの教育環境整備も踏まえ、再編を行う必要があると認識している。

Q 2) 現在、適正規模に満たない小中学校が14校中11校、児童生徒数が90人に満たない学校が5校あり、将来推計によると、令和10年には児童生徒数が90人に満たない小中学校が7校に増加する見込みである。学区の再編等も検討に入れながら、早急に「館山市学校再編基本指針」を改訂し、「再編計画の策定・実行」を進めていくべきではないか？

A 2) 現在、学校再編基本指針の改訂に向け準備を進めており、改訂案が出来次第、パブリックコメントを実施し、保護者・地域住民の皆様のご意見を伺いながら改訂作業を進めていく。また、学校再編調査検討委員会からの提言も踏まえ、保護者や地域住民の皆様との協議方法や具体的なスケジ

ュールを明記することについても検討していく。再編に関する具体的な計画については、地域の皆様との協議・合意形成が整った地域から順次策定していきたいと考えている。

所感

小規模・大規模校ともに、それぞれの長所・短所がありますが、急激に少子化が進む中、効果的な学習活動を継続するために必要な学校規模を維持し、子どもたちにより良い学習環境を提供していくためには、統合はやむを得ない選択肢であると考えています。

私自身、学校再編調査検討委員会の委員として、統合を進めていく必要があるという観点から、会議の中で様々な意見や提案をさせていただき、他の委員のみなさんと議論を重ねてきた中で、統合に関しては、『子どもたちの成長にとって、どうしたらより良い学習環境をつくれるのか』ということを最優先に捉え、児童生徒・保護者・地域のみなさんと一緒に考え、話し合いながら合意形成をしていくことが大切だということを強く感じました。

今後10年以内には児童生徒数が90人に満たない小中学校が7校に増加する見込みであり、学校間の規模の違いにより、様々な学校生活・学習活動上の差が拡大していくことが危惧されます。教育委員会において、学区の再編等も検討に入れながら、早急に「館山市学校再編基本指針」を改訂し、再編計画の策定作業を進め、それらを『たたき台』として地域全体で統合に向けた前向きな議論ができることを願っています。